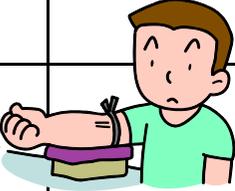
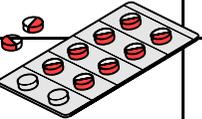


## 顎変形症で入院される患者様へ

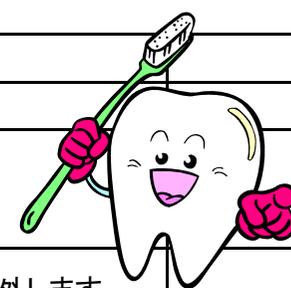
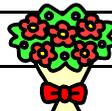
No, 1

患者名

様

日程	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )
経過	外来	入院日	手術前日	手術当日	1日目	2日目
日常の状態				手術室に入る時間は看護師よりご連絡します。 手術着に着替え、排尿をすませてください。	集中治療室から一般病棟へ移動になります。	
処置	手術時に必要な採血します。 				吐き気があったら、すぐにナースコールで看護師に教えてください。 嘔吐時、口の中のゴムを切り、酸素吸入をします。	医師の診察があります。 
検査	レントゲン、心電図、CT、採血、検尿を行います。	眠っている時の体の状態を調べる検査をします。 顔と口の中の写真を撮ります。				
内服	内服している薬について確認します。 				うがいを毎食後と、寝る前にしてください(ストローを使用します)。 痛みが強い場合は、痛み止めの座薬を使用します。	
点滴				麻酔科医師の指示で点滴をする場合があります。	点滴2本、胃薬の注射・抗生剤の点滴を朝・夕で行います。 点滴を行う時には、部屋で待機しててください。	点滴2本と、胃薬の注射・抗生剤の点滴を朝・夕に行います。 消灯前には終わります。
安静度 清潔		特に制限はありません。	入浴し、体を清潔にしてください。	車椅子で手術室に行きます。	経過により、歩くことができます。	
食事		特に制限はありません。	21時以降は食べたり飲んだりできません。	手術前は食べたり飲んだりできません。	食事はできません。 ストローでの飲水(水・無糖のお茶のみ)が可能です。	
検温					適時検温をします。----->	
説明	手術について主治医より説明があります。説明後に渡される手術同意書にサインして、入院当日お持ちください。 手術後、集中治療室に入る時は、一旦病棟から荷物を全て持ち帰ってもらうようになります。手術前は、必要最低限の荷物のみお持ちください。	看護師に、外来で渡された手術同意書をお渡しください。 薬剤師から、薬についての説明があります。	麻酔科医師・手術室看護師・集中治療室看護師が説明に来ます。	ご家族の方は荷物をすべてまとめ、お持ちください。 手術中は、手術室前の待合室でお待ちください。 手術後は集中治療室に入ります。	上下の歯を固定してありますので、主に筆談での会話となります。又、息苦しさ、のどの違和感があります。頬、唇が腫れます。 口の中や鼻から出てくる痰は、吸引器を使って自分で取るようにしてください。	

# 顎変形症で入院される患者様へ No, 2

日程	( / )	( / )	( / )	( / )
経過	3日目	4日目	5日目	6日目～退院日
日常の状態				
処置	連日、外来で医師の診察があります。口の中に入っている管は、出血量により医師が抜きます。(4日目に抜いた場合、5日目に採血をします。)	口の中の管を3日目で抜いた場合、4日目で下顎の圧迫を外します。(4日目で抜いた場合、5日目に圧迫を外します。) ゴム牽引をします。		口の中の糸を抜きます。
検査	診察前にあごのレントゲンをとります。	朝、採血をします。		
内服	うがいを毎食後と、寝る前にしてください。 痛みが強い時は、痛み止めの座薬を使用します。			
点滴	点滴2本と、胃薬の注射・抗生剤の点滴を朝・夕に行います。消灯前には終わります。	点滴2本と、胃薬の注射・抗生剤の点滴を朝・夕に行います。本日で点滴は終了になります。		
安静度 清潔	トイレまで歩けます。	シャワー浴もできます。	→	
食事	食事はできません。ストローでの飲水(水、無糖のお茶のみ)が可能です。	昼より、ウイダインゼリーを口から飲みます。 	朝より、ペースト状の食事を口から開始します。昼～食事が変わります。(お粥で、おかずは細かく刻んだものです。パンは禁止です。)	退院後1ヶ月間は、なるべく軟らかい物の食事で、固い物や大きい物は避けましょう。 
検温	検温をします。 			
説明	手術後1日目と同じ状態が続きます。 →	ゴム牽引は必ずしっかり行ってください。できない場合は、医師の指導を再度受けるか、看護師に報告してください。		退院後の注意事項、次回の外来受診の予約について説明します。診断書が必要な方は、退院手続き後外来でお渡しします。手術後6日目に食事内容・形態について、栄養士の指導が入ります。